

発行・編集 全日本青少年育成アドバイザー連合会
広報委員会事務局 鳥取県東伯郡三朝町三徳 1.016
TEL 0858-43-2882 FAX 0858-43-2922

全国で各ブロック研究集会を開催

関東・甲信越ブロック

関東ブロック交流会の報告

日時 平成29年11月25日 14時～16時

場所 江戸川タワーホール船堀 特別会議室

出席 埼玉県(1名) 栃木県(1名) 東京都(6名)

山崎会長より“今日は寒い、と思っているが、昨年今日は異例に早い初雪が関東・都内にも舞い紅葉した木々が雪化粧までしたインスタ映えする寒い日でした、”との挨拶から始まりました。

各県近況報告

1. 埼玉アドは、「入門コース」ということより、既存アドを含める「研修会」を行っています。
 - ・6月:テーマ『学校教育のありかた』講師は3月まで現役校長先生。今の状況に驚きです。
 - ・10月:テーマ『小・中・高校生の薬物について感じていること』薬物乱用防止指導員の方が、実際授業として行う時の危険や違法をどう工夫して伝えているかを話されました。
 - ・2月:予定は“切り絵”ですが、先生が切りながらする“話”が研修の主役とは楽しみです。
2. アド東京は、今年度「こころの東京革命」(県民会議)に加入しました。
 - ・萩原先生との学習会も毎月(8・1・2月休み)10人前後が集い貴重な時間を重ねています。
 - ・岐阜の総会で頂いた「紙芝居」を江戸川区内の“すすく”で、川崎市内の“寺子屋”では子ども達で色づけ拡大し、上演と楽しい学びの時間になりました。有り難うございます。

・来年度の活動に“アド東京会入門コース”を企画検討中です。

3. 栃木アドは、「栃木県青少年育成県民会議」との繋がりを長期にわたり強く結んでいます。

・県民会議が昭和 55 年創立した当初からアドバイザーは理事として参加しており、2月に行われる 50 周年の記念事業や矢板市の市民立ち上げにも中核的立場で参加しています。

・アドバイザー登録者 19 名、各自の活動が中心となっています。

4. 近県情報

・茨城アド: 10 月 22 日(日)「入門コース」が開催されたので、アド東京から1名参加。

全アド連山本会長も講師で参加され、台風接近の最中まさにその“目”の様なしっかりとした核と拡がりのある内容の研修でした。(お世話になりました。)

・新潟アド:「新潟青少年アドバイザーニュース」が先日届きました。

11 月 8(水)~9 日(木)「秋の研修会」テーマ“SST: ソーシャル スキルトレーニング”を講師を招いて行い、多くない人数でしたが秋の実りの研修会になったようです。

今後の予定

・平成 30 年度総会 5 月 26 日(土)午後

(総会準備のため 4 月に役員会を予定)

記録 青少年育成アドバイザー東京会事務局

北陸・中部・東海ブロック

活動報告

レトロな紙芝居を使った「IT 時代のスマートフォン利用のルール作り活動」

かつて子供たちの非行・問題行動は、一般の人の目にふれることで、何かあればその場で大人が注意するなど、子供たちの過ちを注意し、育みを支えることができました。

ところが現在、手軽にあらゆる情報につながるスマートフォン、ゲーム機、タブレットの普及により、子供たちの行動は一変しました。危険な情報や人との繋がりは、街の中からネットの中へと変わりました。いつでも、どこにいても、だれもが直接

社会とつながることができるようになったのです。これによって、これまでの青少年育成活動の在り方では対応できない場面が広がり、指導が難しくなりました。

私は、新たな解決策として、紙芝居を使ったネットとの関わり方を啓発しています。

ネットの様々な問題事例や危険を伝えながら、家庭において、子供へ携帯・スマホを買い与える際には、ルールを決めることの必要性を意識して欲しいとの願いからです。

この紙芝居は、地域のイベント会場や学校の親子学習等で実施しています。また、情報モラル教育のアイテムとしても使えます。紙芝居があれば、誰でも子供たちへの啓発活動ができます。

これは、青少年育成アドバイザー活動の活性化にもつながります。一つの手段として、どこでも行うことができ、特別に訓練しなくても気楽にはじめられ、誰でも手軽にできます。これまで活動に消極的だった青少年育成アドバイザーの方々も、一つの活動手段として活用していただければ有り難いです。

地元愛知県の青少年育成アドバイザー会では、昨年まで重点活動に位置づけしておりましたが、本年度からは日常活動として研修会や地域のイベント等で取り組んでおります。

私は、要望のあった県へ出かけて紙芝居を贈呈し、その県のアド会員さんに活用していただいております。地域の教育関係機関からも注目されつつあります。更に、小学校低学年の子供を持つ保護者や地元の高齢者学級から紙芝居の要望もいただいております。「孫のためにスマートフォンやゲーム機、タブレットを安易に買い与えるのは考え直さんと…」と、祖母の皆さんは真剣に紙芝居を観て頂きます。

これは、H29年7月に、MIDMFのラジオ番組「もりもつちの笑顔でナイト」に出演した時の写真です。青少年育成アドバイザーとは、どのような活動をしているのですか？といったような内容で会話が弾みました。当初、紙芝居はアドバイザー会員だけで行っておりましたが、以外にも地元の大学生の協力を得ることでできました。レトロな紙芝居に大学生が興味関心を持ってくれました。アニメと違って動かない紙芝居は語り手の表現力が全てです。大学生が演じると同時に、観客から多様な反応を得られます。彼らにとっては新鮮な経験となり、新たな楽しみを見つけたようです。



一人一台情報端末を持って生きるこれからの時代、青少年育成活動に携わる私たちにとって、子供たちと情報機器の関係に関心を持つことは、必要不可欠となります。

「子供に持たせる必要はない！」とお考えの方もいらっしゃるでしょう。しかし、今起きている子供たちの生活の変化から目を背けているのではなく、現状から「次の時代の青少年の健全な育み」を模索する建設的な活動の必要性を強く感じるところです。

全日本青少年育成アドバイザー連絡協議会

広報委員長 峠 テル子

!! 第12回東海北陸ブロックAD連合会総会・研究集会開催される !!



平成 29 年11月18日(土)13:00~19日(日) 杉がらんテラス富山において富山県青少年育成 AD 協議会の主幹で実行され、アド会員ほか、青少年育成関係者 32 名が参加しました。



基調講演に富山国際大学 村上 満 氏（子供育成学部教授）が「青少年健全育成に向けた富山発 “生と活と、づくりのレシピ”と題して講演。その後『健やかに育つ子ども・若者』をテーマに パネルディスカッション、コーディネーター-村上 満 教授、パネリストに以下の 5 名を招く。

- 窪田博道 小児科医（厚生連高岡病院小児科部長） 小児心身症相談
- 高和洋子 NPO 理事長（NPO法人はあとぴあ21理事長） 不登校対応
- 道前正光 市民会議会長（青少年育成高岡市民会議会長）
- 峠テル子 愛知 AD 協会長（愛知県青少年育成アドバイザー連合会会長）
- 稲垣喜夫 富山県 AD 相談役（富山県アドバイザー協議会相談役）



11月19日 研究集会後の集合写真

2日目の研究集会では全AD連会長が「全日本AD連の現状と課題」と題して講義、愛知、石川、岐阜、富山、福井(欠席)の今年度取組みと、次年度対応について意見発表。

基調講演では国際大学 村上 満先生は
生と活と、づくりのレシピを演題に講演
 (生と活とは富山弁で新鮮さを表す言葉)

“**生と活と**”とは

- ・ 親子・家族みんなの仲良し感が感じられること
- ・ 人格を持った一人の人間として尊重され、自分らしく過ごせていると感じられること
- ・ 様々な人との関係性の中でも自分らしくいられると感じられること
- ・ “孤育て”にならず、地域の人もつながっているなあと感じられること



“社会的”にも健康だということ

健全育成のキーワード

- ▼ 窪田博道先生はキーワードとして小児の対応には多職種連携が必要であると力説
- ▼ 高和洋子理事長はそれぞれの意見を尊重し、多様性を持った働きかけが重要
- ▼ 道前正光会長は° 双思考、志向から行動へ
- ▼ 峠テル子会長はAD会の活性化。紙芝居を通して地域大学生も参加して高齢者学級講座を開催
- ▼ 稲垣相談役は健全性、ボランティア活動で変える豊かな心が健全につながりを持つ

5つの耳を養う

- ① **身を傾けて** 聴く耳
- ② **安心・安全を図って** 聴く耳
- ③ **関心を寄せて** 聴く耳・**素直に** 聴く耳
- ④ **感情を** 聴く耳
- ⑤ **積極的に** 聴く耳

第3回理事会・専門委員会合同会議を開催



1、第3回理事会・専門委員会合同会議の開会あいさつ

お忙しい中、多くの皆様にご出席を頂き、心から感謝申し上げます。今回は専門委員会・事務局会議と合同会議としております。内閣府の中央研修会への参加奨励と旅費の節約のために、このような設定にしておりますが、内閣府研修会へ参加できなかった方には、自費での参加となり申し訳なく思っております。その分、充実したご議論をお願い致します。

今回の合同会議は、岐阜大会での決定事項が、約半年を経過する中で、どのように執行・推進されているかを確認しながら、後半の運動に繋げ、来年の宮城大会に臨む為の会議です。

各専門委員会の所管事項について、基本的な事項については、理事会と合同で協議・決定し、詳細な具体的執行については、委員会で協議頂きたいと考えております。

今日は、合同会議、明日は、委員会後まとめの会、としたいと考えております。事務局会議については、夜の懇親会の中で、事務局担当者は谷本総局長との協議・懇談をお願いできればと考えております。合同会議の中でも事務担当として、ご自由にご意見を頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

2、報告事項

(1) 会長報告

1) 岐阜大会以降、会長の動向に関する報告

①各地に出かけて、直接アドの皆さんとお目に掛かって絆を強くし、私の目で、実情を把握すると同時に、全日本の会長としての考え方を直接会員の皆さんにお伝えしたい。総会の協議事項・決定事項が殆ど伝わっていない実情がある。これは組織のパイプが詰まっている為であり、何とかパイプを太くしたい。情報の収集や提供を得たい。との強い思いで、各地に出かけた。

- ・ 7月7～8日～北海道総会・研修会～札幌へ
- ・ 9月11～12日～関西ブロック研修会～神戸へ
- ・ 9月30日～10月1日～中四国ブロック研修会～高知へ～
- ・ 10月22～23日茨城県アド養成講座～水戸市へ
- ・ 10月26日（懇親会・鳥取市宿泊）～中四アド連役員会～鳥取市で内閣府研修会（初めて 参事官に面談）の直後に。
- ・ 11月18～19日東海・北陸ブロック研修会～富山へ

各組織とも、昨年度以上に参加者が多く、活動の前進しつつある姿が確認でき、非常に頼もしく嬉しく感じた研修会・懇談会であった。

②7月9日～札幌からの帰路、東京で関係団体との連携強化の為に～教育問題協議会。生涯学習の町づくり協会の代表とワシントンホテルでそれぞれ面談。社会教育委員連合を訪問し坂本常務理事と面談し、青少年健全育成基本法制定要望に賛同いただくよう要請。

③10月24日～配島さんと内閣府へ養成講座の後援依頼文書提出と通信教育テキスト作成の為に「青少年育成読本」から資料の活用許可を頂きに伺い、了解を得る。

④その他～内閣府主催の研修会に各ブロックが参加され、その後に研修会・役員会を開催されたところもあった。

⑤29年度養成講座実施にあたり、夢基金の申請を行い、50万円の申請で41万円の交付決定を頂く事ができた。これにより、参加費2万円予定を1万7千円に変更した。

⑥通信教育テキスト作成の検討について、末次先生17回忌法要のご縁で「今井財団」（今井光郎教育文化歴史教育財団）の紹介を受け、100万円の補助申請をした。受付の電話を頂いている。採択の可否は審査会が決定するが、事業期間は30年4月1日から9月30日まで。（申請資料及び作成計画は別紙添付のとおり～詳細はこの会議で協議）

（2）各ブロック報告・その他

各ブロックの活動状況について、各副会長他が事業実施の報告（詳細は省略）

3、協議事項

（1）当面する事業について

①アド養成講座の実施について

後継者養成委員会作成の開催要項（とき～平成30年2月23～25日。場所オリンピック記念ア青少年総合センター。参加費1万7千円）を確認し、各県アド新規2名以上。既アド2名以上、計4名以上の参加を実現するよう要請することを決定。認定審査会は30年4月14日を予定。

②通信教育テキスト作成委員会の発足と具体的な方策について。

萩原元昭委員長、福留強副委員長とし、新6期アド養成講座講師6名（柴崎武宏・久留邦明・下田太一・小俣和義・渡部純夫・山本邦彦）を作成委員とし、後継者養成委員会が主管（事務局的作用）して作成。予算150万円。1000冊発刊。B5版で180～200ページを想定。4月・8月に委員会、必要があれば他にも開催し、9月末には完成予定。財源は今井財団補助を基本に不足分が出ればその対応方策を検討することを決定。

③その他については、各専門委員会で会長提案の審議事項を中心に協議し、その結果を、理事会に報告して決定する。

（2）専門委員会での協議について

1）総務委員会（出席者、山本邦彦・谷本治・谷口崇義・山本又三・早坂陽子）

①基本法制定要望運動の具体的進め方

・国会議員への要望書提出について～総務委員会報告のとおり、議員への持参要望でなく、各県選出の全国会議員に郵送する。郵券代は各県アド負担とする。

・次回の宮城大会で、「大会決議」を行う。決議文については、理事会で協議決定して提案する。

・手の届く地方議会（県・市町村）に陳情書を提出し、地方議会から国へ要望書を提出して頂く。アドの中に地方議員がおり、その中から手の届く所から提出する。差し当たり山本会長の三朝町議事に清水成真議員がいるので、三朝町議事に提出する。

②子どもが伸びるチャンスを活かす運動の実施状況について

・総務委員会の提案どおり、「実施結果報告シート」を各都道府県アドに送付し、結果を集約して宮城大会に報告する。シート記入については、県単位で事業実施している場合は県単位で、アドとして個人が関わっている事業の場合はアド個人が記入する。

2）後継者養成委員会（出席者～宇野晃・伊藤順子・山崎正和・前晴夫・内山幸光・配島裕美）

①新6期、29年度養成講座の実施について

- ・ 28 年度講座の経過報告と課題を宇野委員長提出資料により報告
- ・ 29 年度募集要項（既に HP で公表・募集中）により、内容の説明。
- ・ 準備や当日の運営について、宇野委員長準備資料により、担当者ほか協議決定。

②通信教育テキストの作成について、今後の進め方について概要を協議。養成委員会が中心となって、作成委員からの原稿とりまとめとその他の参考資料の掲載について検討。更に財源については今井財団の結果を待って検討する、事を協議。

3) 広報委員会（出席者～峠テルコ・香川勝・宮後宏満・清水成真）

①アド連だより 15 号について

12 月下旬に発行予定 8 ページを予定～山本会長挨拶（第 3 回理事会報告）

各県ブロック研究集会の報告・峠委員長 紙芝居の報告・養成講座のご案内

（いずれも 12 月 10 日までに、清水事務担当まで）

②アド紹介パンフレットの作成

印刷会社 香川さん一任・・・格安

A4 両面カラー・予算 50,000 円・後継者養成委員会と、本部より支出。

原稿依頼～会長挨拶 400 字と写真・活動紹介 峠テル子さん、竹内拓磨さん、伊藤孝さん、配島裕美さん

③活動事例集の作成について

収集方法について～メールで依頼して、メールで返していただく。

活動事例集作成委員会の設置・・・現在、まだ活動事例が集まっていない状況では、時期尚早ではないか。

④グループメールの登録者の拡大について

各県にお願いして、個人に了解していただき、連絡していただくよう要請する。

⑤「全日本青少年育成アドバイザー連合会」の Facebook の立ち上げ

4、理事会の再会

委員会終了後、すぐに理事会に切り替えて、各委員会報告を行い協議。

委員会報告のとおり、決定し散会とした。